

地域イノベーションエコシステムのプロジェクト創発を含む
駆動プロセスについての考察

【 要 旨 】

ソーシャル・イノベーション研究科

ソーシャル・イノベーション専攻

2025年3月修了

大石 達郎

現在地方においては、人口の減少と産業収縮の負のスパイラルが生まれつつある。これを克服するための一助として、地域課題の解決や地域産業活性化のために組成され、地域から新たな産業を生み出す地域イノベーションエコシステムが求められている。先行研究においては、地域イノベーションエコシステムが機能する要件が明らかになってきた。また、知識創造理論およびそのプロセスからイノベーションを生む場の理論において、場の促進要素が提示されている。

しかし、理論と実践は必ずしも一致せず、新たな産業創出を目指す中で、参加者間の共創によるプロジェクト創発は容易にはいかない。本研究では、地域イノベーションエコシステムにおいてプロジェクトを創発するにはどうすればよいか地域イノベーションエコシステムの駆動プロセスから明らかにすることを目的とした。調査手法としては、筆者自身が地域イノベーションエコシステムの間接支援組織において参与観察を行うとともに、地域イノベーションエコシステムにおいて実際にプロジェクトを創発しているキーパーソンにインタビューを行い、理論に基づくだけでなく、実践的な知見を得た。

調査結果を踏まえて、先行研究で論じられている構造や構成要素だけでなく、プロジェクト創出を含む地域イノベーションエコシステムが駆動する要点を、社会的価値を含む理念の確立、価値の訴求、地域イノベーションエコシステムの SECI モデルを回す、プロジェクトの創出と伴走、人材の育成というプロセスとして明らかにした。そして、そのプロセスごとの具体的な要点について結論として示した。

また、この結論に基づき、失敗を極度に恐れることなく挑戦へのハードルを下げ、コーディネーター的視点を得るプロジェクトについて提言を行った。